

清 掃 業 務 要 領

1. 日常清掃

(1) 床面清掃

ア. 共用部分及び専用部分

- (ア) ビニールタイル、ビニールシートはモップ、毛ブラシ等を使用し、塵埃を除去し、汚れの程度に応じて適性洗剤を使用して汚れを取除くこと。
- (イ) 磁器タイルは、自在ほうき、モップ等を使用し、塵埃を除去し、汚点のあるときは適性洗剤、水を使用して汚れを取り除くこと。
- (ウ) カーペットは、真空掃除機で丁寧に吸じんし、織毛を損傷しないよう織目にそって入念に清掃すること。なお、汚点のあるときは適性洗剤にて取除くこと。
- (エ) モルタルは、モップ又は雑巾類で十分に拭き掃除をすること。
外部等水洗い可能な場所は水洗いの上、ブラシにより洗浄すること。
- (オ) たたみはクリーナーにより掃除の上、乾拭きすること。
- (カ) 駐車場、駐輪場、その他外構は巡回し、見廻り拾い掃きを行うこと。
- (キ) ゴミ庫は常に整理整頓し、随時掃き掃除を行い、必要に応じて消毒を行うこと。
- (ク) 床がすべらないように適切な処置を講ずること。
- (ケ) 軽易に移動し得る椅子等の備品は、移動した上、入念に掃除し、完了後元の位置に復するものとする。

(2) 床面以外の清掃

ア. 共用部分（玄関、ホール、廊下、通路、階段、ロビー、風除室、エレベーターホール、エレベーター）

- (ア) 玄関等の出入口のドアー及びその附近のガラス等は、常に乾ぶき又は適性洗剤を使って清掃を行い、金属部分は光沢を失わないよう磨き上げること。
- (イ) 喫煙場所の灰皿、給湯室等の屑かごは常に巡回して適切な処理を行うとともにカウンター、階段、手すり、公衆電話、椅子等の備品類は水ぶき又は乾ぶきを行い、必要に応じて適性洗剤を用いてふき掃除を行い、来館者に不快感を与えないように努めること。
- (ウ) サイン板及び看板の清掃
サイン、看板は水ぶきをして汚れを除去し、汚れの程度に応じて適性洗剤で洗浄、水ぶきをして仕上げること。

イ. 共用部分（洗面所、トイレ）

- (ア) 便器、洗面器具は洗浄剤を用いて丁寧に洗浄し、水洗いの上布ふき掃除すること。
- (イ) 鏡は柔らかい布で乾ぶきをし、必要に応じて適性洗剤にてみがくこと。
- (ウ) 壁、ドアー、間仕切り及び手摺は乾ぶき及び水ぶきをし、汚損の程度により適性洗剤を使用し汚損を取除くこと。
- (エ) トイレの汚物入れ等は、内容物をポリ袋に入れて所定の場所に運び完全な処理をし、容器は洗浄、消毒をすること。

- (オ) 1階女子トイレ内ベビーベットのシートについては適時洗濯すること。
- (カ) 紙屑等は、分別して収集し所定の場所に搬出、一般ゴミ（燃えるゴミ等）・資源ゴミ収集日に指定収集場所へ搬出すること。
- (キ) 石けん、トイレットペーパー等は随時点検を行い補充すること。
- (ク) トイレの清掃は、特に清潔で衛生的でなければならないので、汚れ等を放置することのないよう万全を期すこと。
- (ケ) 各トイレに『トイレ清掃点検票』を設置し、午前・午後それぞれ2回以上の見廻りを実施し、時間及び点検者を記入すること。
- (コ) トイレットペーパーの在庫を毎日確認すること。

ウ. 浴室の清掃

浴室の清掃は、浴槽並びにタイル部分について適性洗剤で洗浄すると共に、清潔で衛生的な環境を維持することに努める。

エ. 外周部分

タバコ吸殻、落葉等拾い掃き並びに植込み中の空カン、空ビン、その他のゴミの撤去を適時行うこと。

オ. 専用部分

- (ア) 机の上、飾り棚、ファンコイルカバー、サッシュ窓台等は水ぶきをし、汚れのひどい時は適性洗剤を使って取り除くこと。
- (イ) 椅子類で布製は真空掃除機で、レザー製は乾拭きをしてほこりを取り除くこと。
- (ウ) 扉、間仕切り等は水ぶき及び乾拭きを行うこと。
- (エ) 電話器は、常に乾拭きをし、ほこりを除去すること。

カ. テラス・屋上の清掃

- (ア) テラス・屋上の巡回をし、見廻り拾い掃きをすること。必要に応じて掃き掃除、ホースによる水洗い、ブラッシングをすること。
- (イ) ドレイン清掃は、年2回（9月・3月頃）土砂の除去をすること。

キ. ゴミ搬出業務

- (ア) 指定された日時にゴミ庫に集積された廃棄物を所定の場所に搬出すること。
- (イ) ネットの出し入れ及び管理をすること。

2. 定期清掃

(1) 床面清掃

ア ビニールタイル、長尺ビニールシート、石床、大理石、塗床は最初に毛ブラシ、モップ等で掃除を行い、適性洗剤を用いてポリッシャーで洗浄し、洗剤を水かき等で取り除きモップ等でふき取りを行い十分乾燥させた後、樹脂系ワックス（石床、大理石、塗床はのぞく）を塗布して仕上げを行う。

イ カーペット床は、最初に真空掃除機で除塵をし、適性な洗剤にてクリーニングをするとともにウェットバキュームをかけ、洗浄液を吸い取る。乾燥後、再度真空掃除機により起毛、整毛作業を行う。

ウ. 浴室の清掃

浴室の清掃は、浴槽並びにタイル、石材の部分については適性洗剤を用いポリッシャーで洗浄すること。天井は必要に応じて適正洗剤を用い、ブラシ等で

カビの除去をすること。

(2) 窓ガラス等の清掃

ア ガラスは両面とも適性洗剤を用いて拭き、更に乾ぶきをして仕上げること。

イ サッシュは水ぶきをして汚れを除去し、汚れの程度に応じて適性洗剤で洗淨後、水ぶきをして仕上げること。